

令和4年度 第2回 上阿多古小学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和4年5月30日（月） 9時30分から11時00分まで
- 2 開催場所 上阿多古小学校 2階多目的ホール
- 3 出席委員 大桑 萬三六、金指 徳吉、小出 住子、平野 保徳、青柳 茂美
- 4 欠席委員 石田 智恵子、田口 龍也
- 5 学 校 高木 理恵（校長）、松本 基男（教頭）、宮崎ありさ（キャリア教育推進教師）、中澤 郁美（CSディレクター）
- 6 教育委員会 堀田 洋一（教育総務課）
- 7 傍聴者 なし
- 8 協議事項
（1）上阿多古小学校の「キャリア教育について」
（2）「上阿多古スポーツフェスティバル」について
- 9 会議録作成者 CSディレクター 中澤 郁美
- 10 会議記録

司会の教頭から、委員総数7人のうち5人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

（1）上阿多古小学校の「キャリア教育について」

議長の指示により、キャリア教育推進教師からキャリア教育についての説明があり、委員からは、以下の発言があった。

・キャリアという文言だけは聞いたことがあるが、自分が思っていたことと違う。学校経営の中で浸透していて、教育の中で押さえられていることは良い。学校で情報・体験の提供をしてくれていて、子供たちが吸収できる環境が良い。子供たちの姿に直結していると感じた。熊小とタックを組んで、同学年との関わりが出来ていて良い。そういう所で育つ力があると思う。（青柳委員）

・学校生活の中で自然と身につく物であることが良い。1つくらい興味を持ってくれると良いと思う。（大桑委員）

・子供たちもなりたいたいものはあるが、それに対してどういう風にしていけるかの方向性がわかり、すごく良い。色々な物を吸収出来て良い。（小出委員）

・他の学校ではやっているのか？（平野委員）

→各学校で行っているが、内容はそれぞれの学校に合わせて行っている。教師が普段の生活の中で声掛け等をして、意識付けしている。自然に出来ていることに価値付けしてあげることが教師の役割であると考えている。（宮崎）

・理科の授業では色々な意見が飛び交っていて、活発さが見られた。（青柳委員）

→子供たちが自分なりに答えを出せる授業を試行錯誤しながら行っている。（校長）

(2)「上阿多古スポーツフェスティバル」について

議長の指示により、司会から5月21日に行われた「上阿多古スポーツフェスティバル」についての報告があり、委員からは、以下の発言があった。

・実施の判断が大変な中で、開催されたことは良い。以前は地区祭として開催しており、無くなってから7・8年経つが、地域の人たちと一緒に開催された方が子供たちの心に残るのではないかと賑やかさが増し、地域の人とのふれあいもより一層高まるのではないかと40歳代くらいの人たちができる棒体操は、上阿多古小ならではのものなので、子供たちや地域の人たちみんなで取り組むのもいいのではないかと。(金指委員)

・スポーツフェスティバルについての案内はどこまで出しているか？(青柳委員)

→一昨年からコロナの関係で、地域の方は積極的に呼んではいない。いつ戻せるかわからないが、来年はどのような形にしていくか考えなくてはいけない。半日開催か、一日開催かも検討課題ではあり、コロナの状況により今は決められない。(校長)

・コロナのこの状況で、地域の方は難しいのではないかと。(青柳委員)

・孫がいないと参加しにくいのではないかと。(平野委員・小出委員)

・感想発表で自分なりの感想が言えていた。(大桑委員)

・体協・中学生の協力があって良い。(大桑委員・青柳委員)

・入場行進をやったらどうか？(平野委員)

・春に開催するメリットは？(金指委員)

→秋にはぎんなん祭りや修学旅行など大きな行事があり、バランスを考えてスポーツフェスティバルは春に行っている。(校長)

その他報告事項等

司会から、次回以降の会議は以下の日程で開催する旨の報告があった。

第3回 9月 9日(金) 9時30分～11時00分

第4回 2月21日(火) 9時30分～11時00分